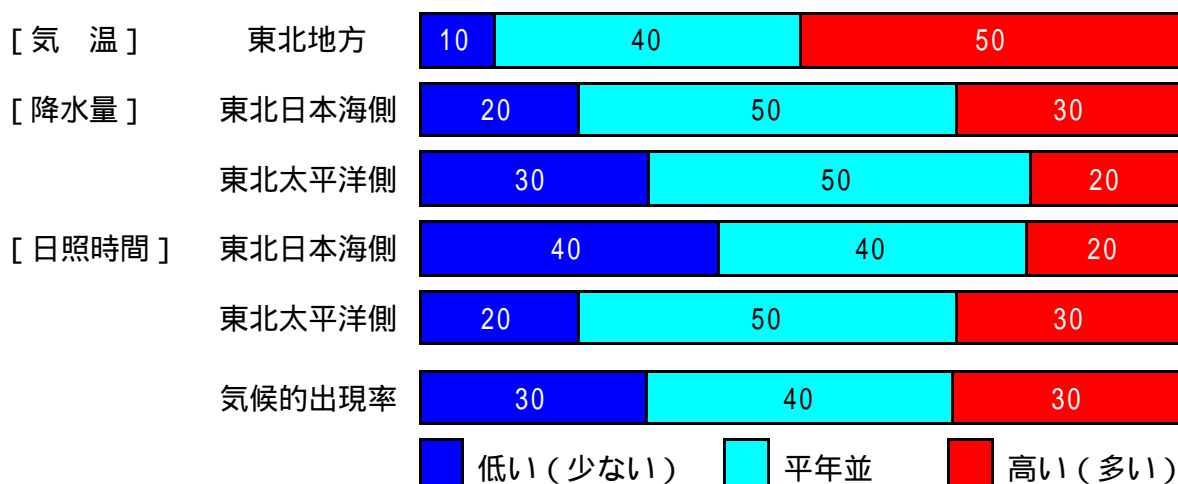


# 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：8 月 21 日～9 月 20 日）

平成 11 年 8 月 20 日 仙台管区气象台

## 1. 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[ 気 温 ]: 東北地方は「高い」の可能性が大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「平年並」で 40％です。「低い」の確率は 10％と小さい。

[ 降 水 量 ]: 東北日本海側は「平年並」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 50％です。次に大きい確率は「多い」で 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。東北太平洋側は「平年並」の可能性が大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「少ない」で 30％です。「多い」の確率は 20％と小さい。

[ 日照時間 ]: 東北日本海側は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「多い」の確率は 20％と小さい。東北太平洋側は「平年並」の可能性が大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「多い」で 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

## 2. 予想される天候の特徴（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

### 向こう 1 か月

東北地方は、天気は周期的に変化するでしょう。日本海側は低気圧や前線の影響を受け、一時天気がぐずつくでしょう。この期間の平均気温は高い見込みです。平年の晴れ日数は約 15 日です。

### 各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 向こう 1 週間は、気圧の谷の影響で曇の日が多く、東北北部では 22 日と（8 月 21 日～8 月 27 日）期間の終わりは雨となる見込みです。

平均気温は高い見込みです。平年の晴れ日数は約 4 日です。詳細は週間天気予報を参照して下さい。

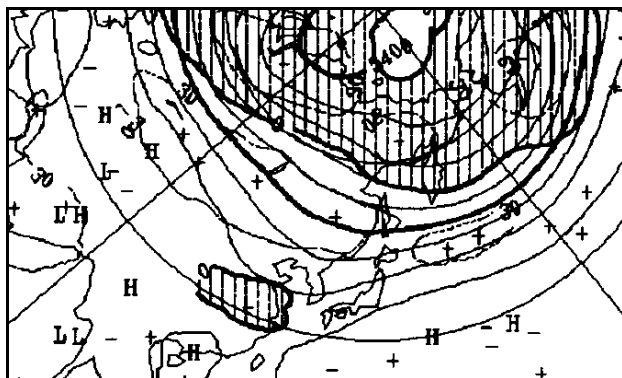
2 週目…………… 天気は周期的に変化するでしょう。

（8 月 28 日～9 月 3 日） 平均気温は平年並の見込みです。平年の晴れ日数は約 4 日です。

3～4 週目…………… 天気は周期的に変化するでしょう。日本海側では低気圧や前線の影響で、（9 月 4 日～9 月 17 日）天気のぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は高い見込みです。平年の晴れ日数は約 7 日です。

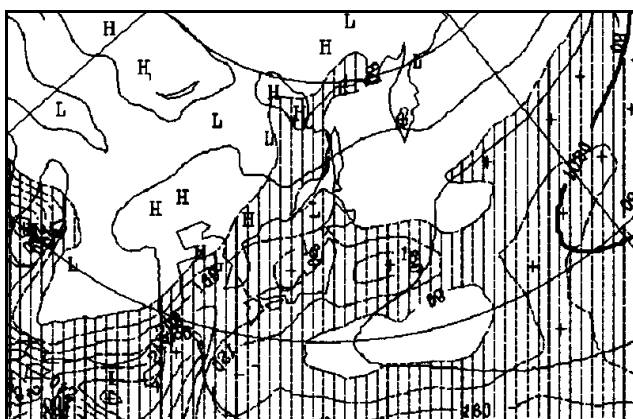
## 予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



月平均の 500hPa 高度・偏差  
(等高度: 60m 毎、偏差: 30m 毎、陰影部: 負偏差)

### ・ 500hPa 高度・偏差

月平均でみると、太平洋高気圧は日本の南海上に後退するが、日本付近は広く正偏差に覆われる。2 週目（図略）3～4 週目（図略）も、日本付近は弱い正偏差に覆われる。日本付近は、期間を通して西谷の流れ。擾乱が発達して通り易く、暖かい空気が入り易い。



月平均の地上気圧と降水量  
(等圧線: 4hPa 毎、降水量: 40mm 毎、陰影部: 80mm 以上)

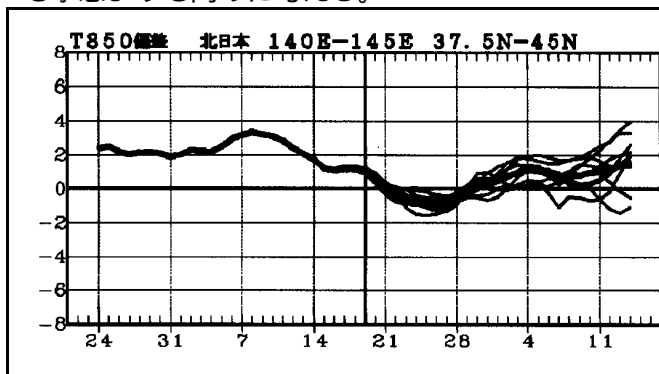
### ・ 地上気圧と降水量

これまで東北地方を覆っていた太平洋高気圧の軸は南に下がり、その縁辺に沿って降水量が予想される。東北地方では日本海側を中心に影響を受け易いことが予想される。

東北地方で予想される降水量は概ね平年並である。後半（3～4 週目：図略）には、日本の南岸に前線による降水域が予想される。

## 3．北日本 850hPa の気温偏差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温は、アンサンブルメンバーの平均でみるとこれまで高めで推移してきたものが、一旦下降し、2 週目以降再び上昇して平年より高めになることが予想されている。ただし、後半のバラツキは大きい。また、最近の傾向として、予想より実況が高めに推移しており、今回も予想よりも高めに考える。



北日本 850hPa 高度（上空約 1500m）での気温偏差の実況と予想

縦軸：気温偏差（ ）横軸：日付

発表日以降の細線は各アンサンブルメンバーの予想値、太線は平均値。

注）・資料の内容を他の要素により修正して予報を組み立てることがあります。

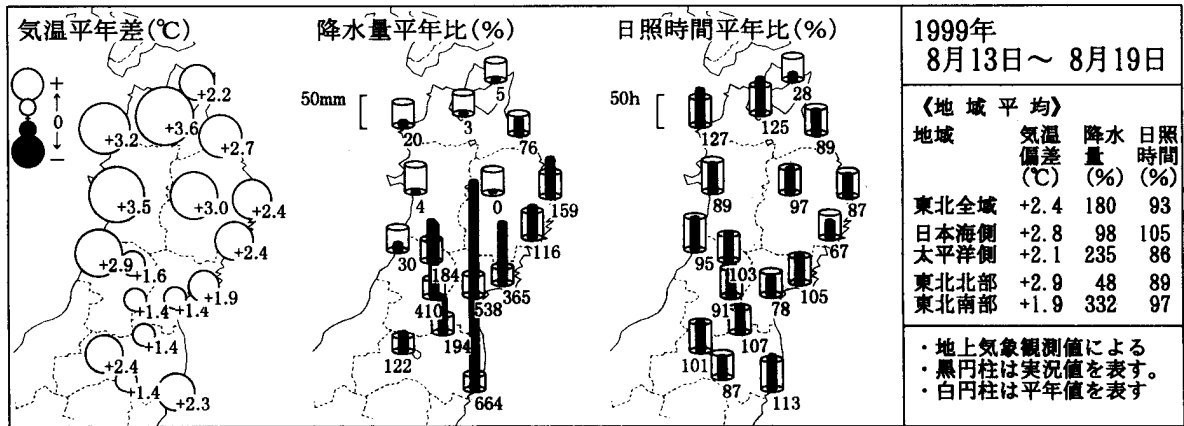
・ 850 hPa の気温は、地上の気温と必ずしも対応しないことがあります。

注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

#### 4. 最近 1 週間 (8 月 13 日～8 月 19 日) の天候の経過

期間の始め、13～15 日に日本の南海上から日本海に抜けた弱い熱帯低気圧の影響で、日本海側北部を除き雨となり、特に東北南部は各地で大雨となった。その後徐々に太平洋高気圧に覆われ、全域で概ね晴れの日が続いた。18 日に仙台管区気象台は「小雨に関する東北地方気象情報第 5 号」を発表した。

平均気温は東北全域で偏差が+2.4 と高い。降水量は東北南部が平年比 332%と多く、東三北は 48%と少ない。日照時間は東北全域で 93%と少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）